

理解することからはじめよう
生物多様性条約ガイド
—ユース版—



Change Our Next Decade



はじめに

本冊子は「生物多様性条約」について、これから学びたい、少しでも興味がある、というユース向けに作成しています。

2010年、愛知県・名古屋市で生物多様性条約COP10という会議が開かれ、多くの日本人ユースも参加しました。

このとき、10年間の期限として20個の「愛知目標」が定められ、世界共通の目標として、世界中が生物多様性保全に取り組んできたのです。

優良な仕組みや取り組みが生まれた一方、この「愛知目標」は達成が不十分なまま、来る2020年、中国・昆明市で開かれるCOP15にて次の10年間の目標へと更新されます。

ここまで読んでみて、もう既に難しいと感じた方も多いかもかもしれません。しかし、臆することはありません。生物多様性条約は、「生き物」や「自然」だけでなく、人々の生活、経済、権利等も包括的に守っている条約で、とても身近なものなのです。知れば知るほど、その奥深さに感動できると思います(私もその1人でした)。

本冊子に掲載しているものはあくまで初学者向けの導入です。生物多様性を理解し、「私たちの次の10年間」を一緒に変えるため、行動していきましょう！

第 1 回

国際会議でのユースの活動

第 2 回

生物多様性やその条約とはたらき

第 3 回

**国際会議への取り組み方や
ユースのはたらき**

第 4 回

生物多様性の「主流化」

第 5 回

**生物多様性に関する
世界の2020年までの目標について**

第 6 回

**“次の10年”の世界目標の
決定に関わるために必要なこと**

第1回 国際会議でのユースの活動

若者の国際会議での活動

政策提言/
ステートメント



サイドイベント



キャンペーン・
ブース運営



アクションの実施



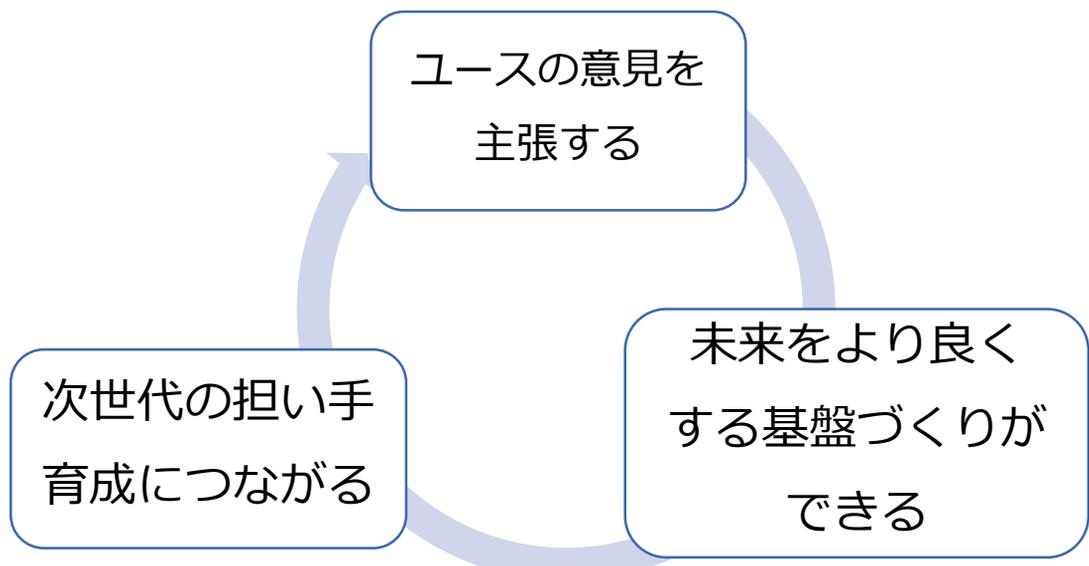
国際会議でのわかもの(ユース)の役割

次世代を担うセクターとして、将来に関係する決定が良い中身や合意内容になるよう働きかける

会議や条約について人々にわかりやすく伝える

最新動向を得て帰国後国内でも継続して政策提言を行う

ユースの国際会議への参加意義

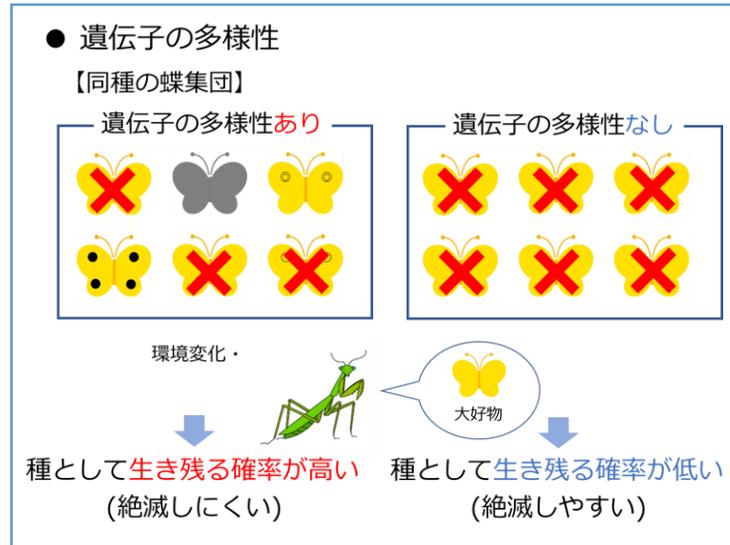
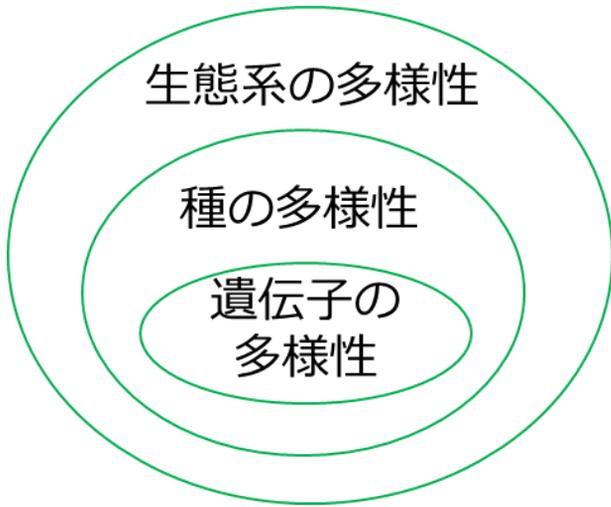


ユースには未来を変える力がある！

第2回 生物多様性や

「生物多様性」ってなに？

生物多様性 = Biodiversity Biological Diversity(生物学的多様性)の略称



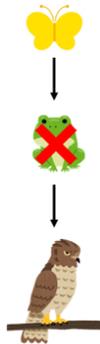
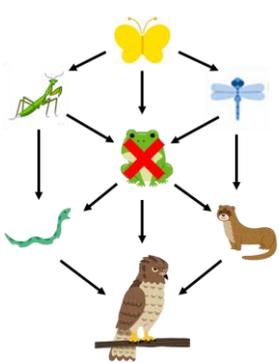
「生物多様性」はなぜ大事？

生物多様性は私たちの生活の基盤となる大事なシステム



その条約、はたらき

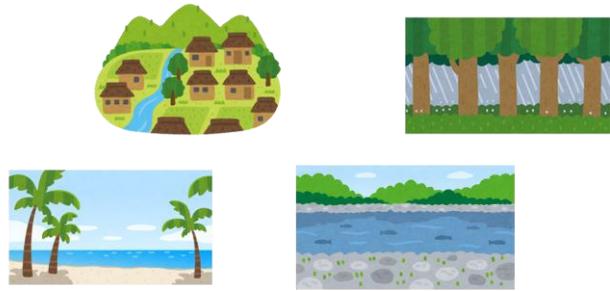
● 種の多様性



たとえカエルが絶滅しても
システム全体には
大きな影響を与えない

カエルが絶滅してしまったら
鷹もやがて絶滅し
蝶は過剰に増えるという
異常事態が発生してしまう

● 生態系の多様性



様々なタイプの住みか(自然環境)がある
=多くの生物が存在することができる

現在の状況と喪失の影響

地球上の種の数：870万種 (2011年の研究より)

100万種が絶滅の危機？！

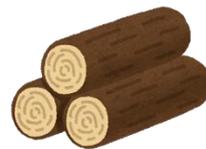
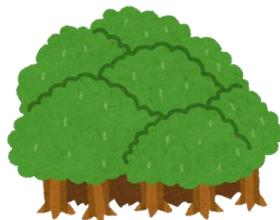
(IPBES-7レポートより)

● 生物多様性喪失の主要因は何？

生息地の荒廃・劣化



生息地の消失



野生生物の過剰利用



人間の活動が関わっているものばかり！

「生物多様性条約」ってなに？

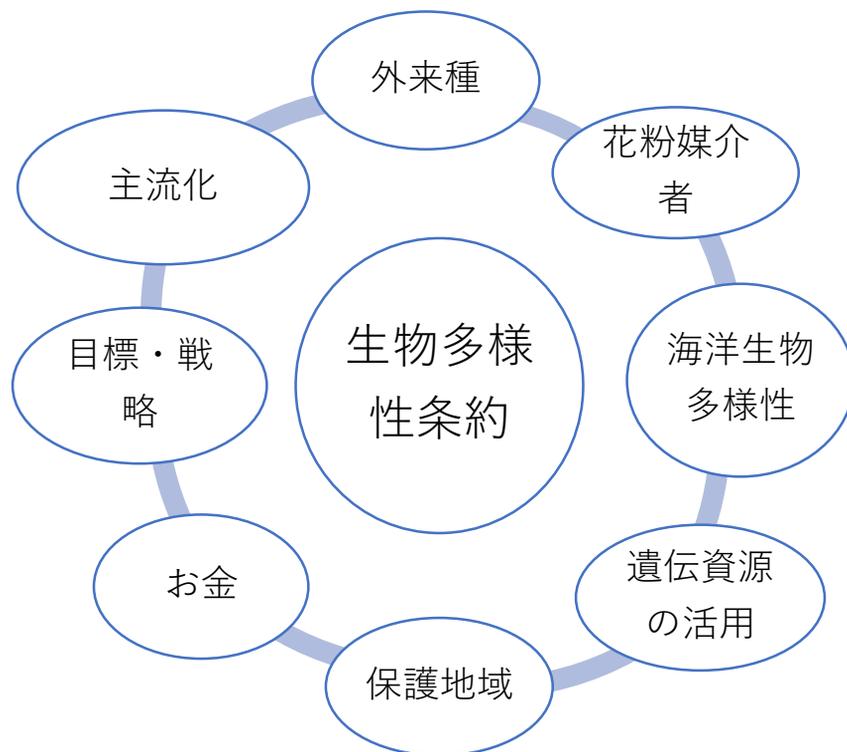
●そもそも「条約」ってなに？

Convention on Biological Diversity=CBDと略す

国家間または国家と国際機関との間で結ばれる文書による法的な合意

(WEBLIO辞書)

●生物多様性条約さまざまなものを包括的にカバーしている



●生物多様性条約の3つの目的

- (1) 生物多様性の保全
- (2) 生物多様性の構成要素の持続可能な利用
- (3) 遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分

「遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分」はこんな感じ

発展途上国

(本当は嫌だけど)ルールを守るなら
我が国の遺伝資源を使っても良いですよ
ただし、ちゃんと利益を共有してくださいね

先進国

我が国の企業や研究者が行う資源調査・研究の
許可を出してください
その代わりに(本当は嫌だけど)ちゃんと利益を配分しますよ

「生物多様性条約」の制度と取り決め

生物多様性条約は196の国と地域が締約している

COP(締約国会議)=Conference Of (the) Parties の略

→196の国と地域で話し合い、世界共通のルールを作る場となる

COPのもつ役割は主に以下の2つ

意思決定機関としての役割

最終的に196か国が全員納得できる決議(決まりごと)を作る(合意形成)

フォーラムとしての役割

展示やサイドイベントなど最新の現状報告、新しい取り組みの紹介、人とのネットワーク形成など

COPは他の条約にもあるため、「生物多様性条約COP」や「CBD-COP」と呼びます。

★COP以外の関連する準備会合

●SBSTTA

the Subsidiary Body on Scientific, Technical and Technological Advice(生物多様性条約科学技術助言補助機関会合)

→「科学的」な視点から議論を行う。「**何をするのか**」に焦点

●SBI

the Subsidiary Body on Implementation(生物多様性条約実施補助機関会合)

→「**実施**」の視点から議論を行う。「**どうやってやるのか**」に焦点

●OEWG

the Open-Ended Working Group on the Post-2020 Global Biodiversity Framework

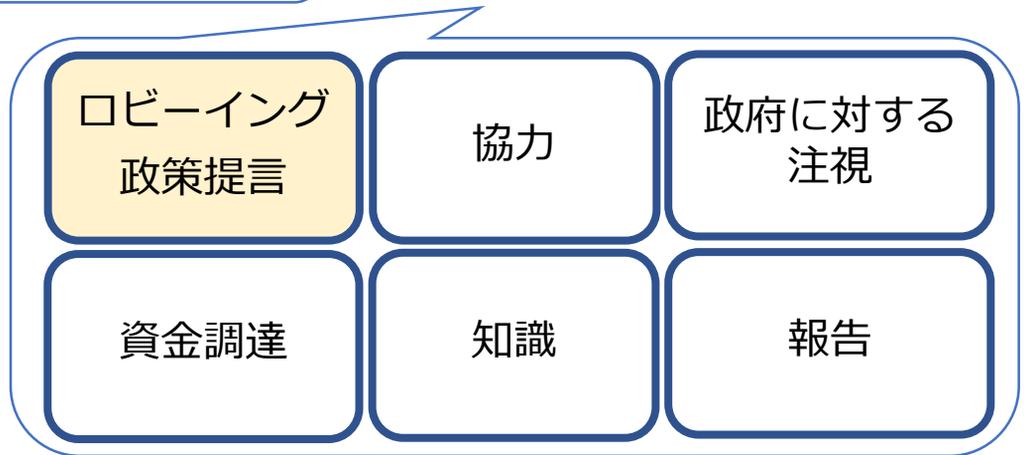
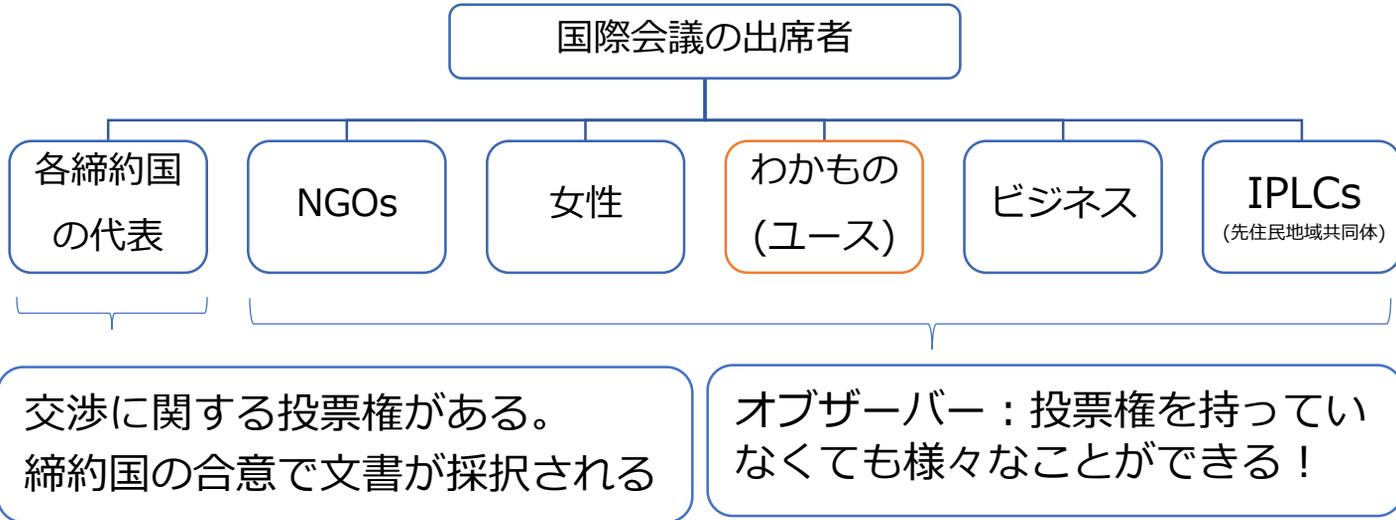
(ポスト2020生物多様性世界枠組みに関する公開作業部会)

→「**ポスト2020**」に特化した会合。COP10時には設置されなかった新しいプロセス。COP14(2018年11月)時に提案され、開催が決定した。

第3回 国際会議への取り組み方や

国際会議におけるユースの役割

● 国際会議での立場って？



文書の種類

● 交渉過程の文書の種類は大きく分けて主なものが3つある

ドラフト文書

会議前に
条約事務局が
作成した文書

CRP文書

ドラフト文書に
対する各国や
オブザーバーから
の意見を反映し
会議期間中に
条約事務局が作成

L文書

CRP文書に
対する各国や
オブザーバーから
の意見を反映し
条約事務局が作成

決議(合意文書)になる

校正／翻訳

ユースのはたらき

COPで行われる会議の種類

● 国際会議での立場って？



本会議(プレナリー)

- 最終意思決定機関となる。L文書の採択はここです。
- 開会式では、これまでの会議や地域会合などの報告が行われる。



作業部会(ワーキンググループ)

- COPでは必ず2つ設置される。
- 議題ごとに意見を交わし、L文書まで作成できたら、本会議に送り、採択される



特定課題を集中的に議論する場合に必要なに応じて設置されるグループ

- コンタクトグループ
- フレンズオブチェア
- インフォーマルグループ

意見を言いたいときは？

わかものとして意見が言いたい！ = インターベンションをする
(意見表明)

◎ インターベンションとは？

- 国またはオブザーバーによる**本会議での発言**のこと
- 締約国の発言後、**時間が残っている場合に限り**オブザーバーが発言できる
- 発言する際は**3~4分を超えてはならない**
- オブザーバーは議決権を持っていないが**文書の変更を提案**することができる
→**少なくとも1カ国から支持される必要**がある



● サイドイベントってなに？

- セミナー、事例・取り組み紹介、WS等形式は様々
- 事務局、締約国、国際組織、NGO等主催者も様々
- **取り組みの紹介**や、**交渉を支える話し合いの促進**、**ネットワーク拡大**などの良い機会として捉えられる
- お昼休みと本会議(作業部会)終了後の夜に開催
- COPの時には1日だけのイベントもある



わかもの役割って？ - アジェンダ21

ユースの活動は環境の議題の中で取り上げられてきた

次の世代にも伝えて解決する責任がある

関連項目：アジェンダ21

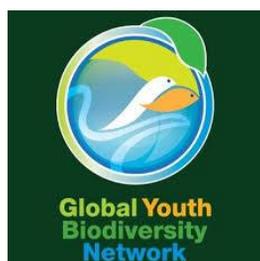
- ・地球サミット(1992年)で採択
- ・社会の9つの部門をグループに分け、持続可能な開発への参加を促進
- ・子供やわかものもその1つとして認められた

→非常に影響力のある文書となり、環境条約等にわかものを意思決定のプロセスに含めるようになった



GYBN = Global Youth Biodiversity Network

(生物多様性世界わかものネットワーク)



メンバー数

664,000

団体数

280

出身国

140

(2018年出版時点)

●能力養成

- WS、WEBセミナー、出版物

●CBDの過程へのユース参加の調整

- 議題のトラッキング、ロビーイング、サイドイベント、アクション

●連絡役

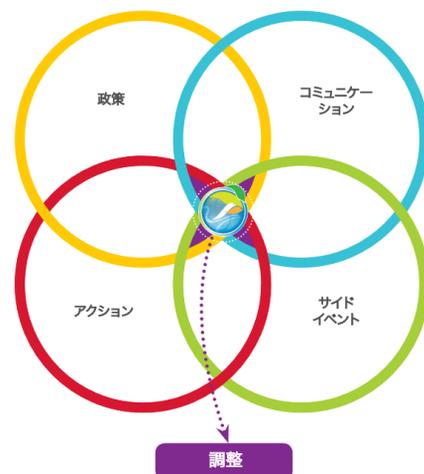
- 情報の管理、情報を広める、メンバー管理

●ネットワークの動員・結成

- 地域的・国家的なネットワーク動員への協力

●普及啓発

- 情報や機会を広める



第4回 生物多様性の「主流化」

生物多様性の「主流化」ってなに？

生物多様性の主流化

生物多様性の保全を
主目的としていない分野にも

生物多様性の重要性を
自発的に意識してもらう
こと

Engagement(巻き込み)

「お客様、来てください(受動的)」



Mainstreaming(主流化)

「何かやる時、**当たり前**にして
ください(主体的)」

これまでのCBDでの議論の経緯

● COP12

生物多様性の**主流化は重要**であるという認識が強まる

● COP13

農林水産業や観光セクター(第1次産業)を中心とした
生物多様性の主流化に関する広範な決定を採択



● COP14

エネルギー・鉱業、インフラ、製造・加工(第2次産業)、
健康の分野における生物多様性の主流化を検討

→ 生物多様性の損失を食い止め、
戦略計画やSDGsの達成に不可欠であることを強調



主流化の具体例

- 普及啓発ツール「生き物目線で活動チェック」
- 普及啓発ツール「IKITOMO(イキトモ)」
- 普及啓発ツール「MY行動宣言 5つのアクション」
- 「生物多様性民間参画ガイドライン」
- 普及啓発ツール「Let's Try Biodiversity」



第5回 生物多様性に関する

愛知目標ってなに？

2010年に**愛知県**名古屋市で
開催されたCOP10で決めた

生物多様性保全のための10年
間の世界共通の20個の**目標**

愛知目標の中身は？！

戦略目標A 根本的要因への取り組み



普及啓発

目標1：普及啓発

みんなが、生物多様性は大切なんだと知ろう。その気持ちをもって、行動しよう。



補助金・奨励措置

目標3：補助金・奨励措置

生物多様性に悪い制度はやめよう。やめさせよう。いい制度をすすめよう。



各種計画への組み込み

目標2：各種計画への組み込み

国や地方は、生物多様性を大切にする計画を立てよう。



生産と消費

目標4：生産と消費

環境に無理をさせず続けられる生産と消費を行おう。

社会全体の仕組みを変えていこうという目標群

戦略目標B 直接的要因への取り組み



生息地の破壊

目標5：生息地の破壊

森など、生き物が暮らす場所が失われるスピードを半分まで抑えよう。ゼロを目指そう。



化学汚染

目標8：化学汚染

化学物質・肥料・農薬は、生物多様性に有害でない範囲まで抑えよう。



過剰漁獲

目標6：過剰漁獲

魚や貝など水産資源は、これからも無理なく続けられるように漁獲しよう。



外来種

目標9：外来種

環境に害をあたえる外来種が増えるのを防ごう。入ってこないようにしよう。



農業・林業・養殖業

目標7：農業・林業・養殖業

農業・養殖業・林業が行われる地域を、長く無理なく活動できるように管理しよう。



脆弱な生態系の保護

目標10：脆弱な生態系の保護

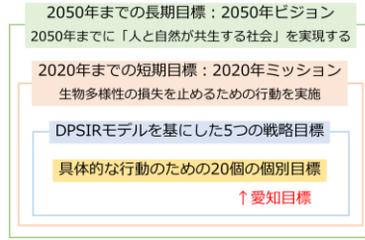
サンゴ礁など、環境の変化に特に弱い生態系を守ろう。

悪影響を極力抑えていこうという目標群

世界の2020年までの目標を知ろう

愛知目標の構造

- 2050年ビジョン
- 2020年ミッション
- 5つの戦略目標
- 20個のターゲット から成る



戦略目標C 状況の維持・改善

戦略目標D 自然の恵みの強化



保護地域

目標5：生息地の破壊
森など、生き物が暮らす場所が失われるスピードを半分まで抑えよう。ゼロを目指そう。



種の保全

目標12：種の保全
絶滅危惧種を絶滅から防ぎ、ふつうの種に戻していこう。



遺伝的多様性

目標13：遺伝的多様性
一つの種のなかでも、多様さを大事にしよう。

いまある状態を残していこう

という目標群



生態系サービス

目標14：生態系サービス
生態系を守り、自然の恵みが子どもや貧しい人々にも届くようにしよう。



復元と
気候変動対策

目標15：復元と気候変動対策
傷ついた生態系を、15%以上回復させよう。それによって気候変動や、砂漠化の問題に貢献しよう。



ABS

目標16：ABS
生物多様性から得られる利益は、国や地域を超えて公正に分配しよう。

自然の恵み

に焦点があてられた目標群

戦略目標E 実施の強化



効果的・参加型戦略

目標17：効果的・参加型戦略
みんなで参加しながら作戦を立て、みんなで実現しよう。



知識・
技術の向上と普及

目標19：知識・技術の向上と普及
生物多様性に役立つ知識や技術を豊かにしていこう。



伝統的知識

目標18：伝統的知識
生き物や自然にまつわる伝統的な知識を大切にしよう。

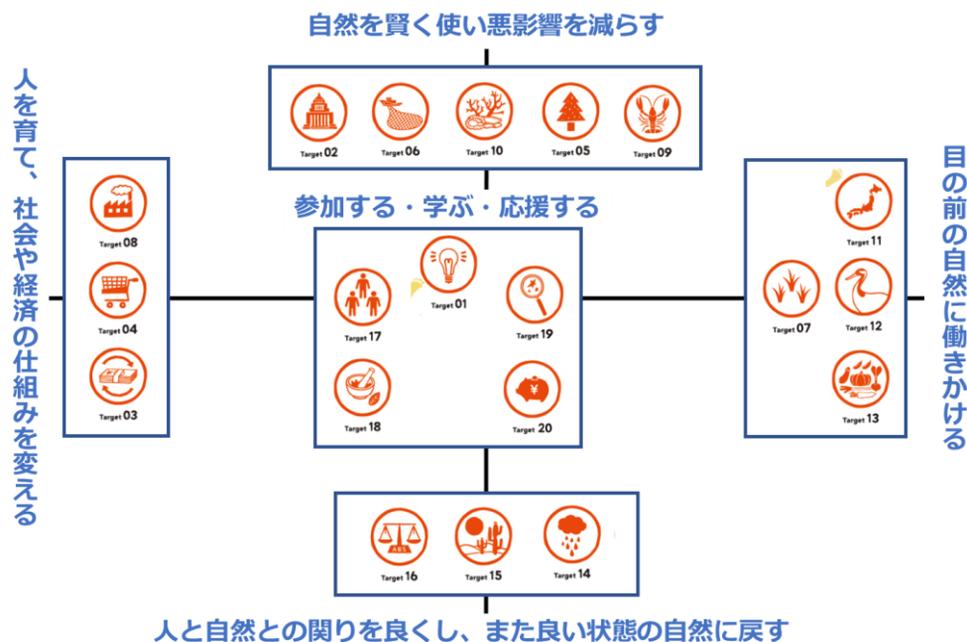


人材・資金

目標20：人材・資金
活動を支えるために大切な人材と資金を、協力を集め増やしていこう。

人々の意識や知識、支援の拡大に焦点を当てた目標群

目標同士の関係性



愛知目標の現状

● GBO 4 (Global Biodiversity Outlook 4)

「地球規模生物多様性概況第4版」

生物多様性に関する最新のデータや保全動向、各国からのレポートなどを元にまとめられている、2014年10月に発表されたレポート。

「愛知目標の中間評価」



● IPBESレポート (Intergovernmental science-policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services)

「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム」

世界規模で生物多様性・生態系を科学的に評価したレポート。数100人の研究者が3年以上かけて作成した。経済的発展の自然への影響・数十年後のシナリオ等を提案している。

IPBESレポートの特徴

- ・ 科学・政府の約1500の情報源による計画的なレビューと、先住民・地域的な情報に基づく。
- ・ 新しい評価方法で作成された“初”の政府間のレポート。

第6回 “次の10年”の世界目標の決定に関わるために必要なことを知ろう

“ポスト”愛知目標ってなに？

“ポスト”愛知目標 = 愛知目標の“次の10年間”の目標

“ポスト”2020年目標とも言われる *略してポスト2020(Post2020)

いつ：2020年10月 どこ：中国・昆明

ポスト愛知目標の名称は昆明目標かも？

“ポスト”愛知目標を決めるときのキーワード

重要原則：

- 「参加 participatory」
- 「包括 comprehensive」
- 「変革 transformative」
- 「包摂 inclusive」
- 「触発 (catalytic)」
- 「透明性 transparent」
- 「知識ベース knowledge base」
- 「反復性 iterative (何度も意見を往復。合意と当事者意識)」
- 「ジェンダー配慮 Gender Responsive」
- 「視認性 Visible」
- 「柔軟性 Flexibility」



● COP14にてみんな(196ヶ国)で決めたプロセス

- ・ 特別作業部会の設置と共同議長指名
- ・ プロセスそのものの普及啓発のための
ハイレベルパネル(セレブとか芸能人とか)の設立
- ・ 多様な関係者を対象にしたり参画したりする
準備プロセスや、地域ワークショップの開催等を通じて検討を進めることを呼びかけ
- ・ 2020年の国連総会で首脳級会合を実施

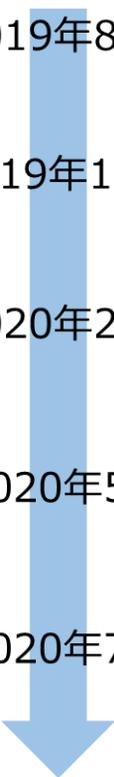


(下線は、愛知目標を決めるときにはなかったプロセス)

ポスト愛知目標決定のための進捗は？

- SBI2(2018年7月@カナダ)
：ポスト愛知目標を決めるためのキーワードを議論
「transformative change」が会議中によく出てきた
- COP14(2018年11月@エジプト)
：プロセス(目標を決めるための段取り)を合意・決定
- 地域別会合(2019年1月～5月@各国・アジアは日本で)
：地域ごとにポスト愛知目標に対する意見交換WSを開催
- 1st OEWG(2019年8月@ケニア) ←いまココまで終わった
：地域ごとに出された意見の集約。ポスト愛知目標の構造と
範囲についてと、今後のプロセスに関して議論。

“ポスト”愛知目標を決める会議のスケジュール



2019年8月	第1回ポスト愛知目標特別作業部会(1 st OEWG)
2019年11月	第23回生物多様性条約科学技術助言補助機関会合(SBSTTA23)
2020年2月	第2回ポスト愛知目標特別作業部会(2 nd OEWG)
2020年5月	第24回生物多様性条約科学技術助言補助機関会合(SBSTTA24) 第3回生物多様性条約実施補助機関会合(SBI3)
2020年7月	第3回ポスト愛知目標特別作業部会(3 rd OEWG)
2020年10月	生物多様性条約第15回締約国会議(COP15) テーマ：“Ecological Civilization(生態文明)”

*各会議の合間にテーマ別の会合やWSが開催予定

理解することからはじめよう 生物多様性条約ガイド ―ユース版―

発行日：2019年10月28日

発行者：Change Our Next Decade(COND)

監修：道家哲平

使用画像：(株)いらすとや

カバー画像：佐藤千佳

アイコン：(株)アンティグアグッドフェローズ

本冊子に関するお問合せ

secretariat.cond@gmail.com 担当：矢動丸琴子

HP：<https://cond2020-44733.firebaseio.com/>

LINEからも
お問合せいただけます！



